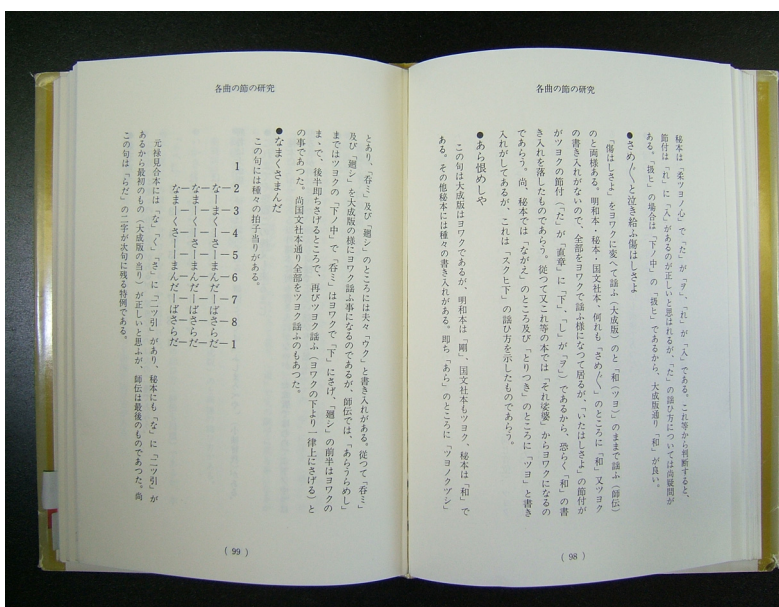
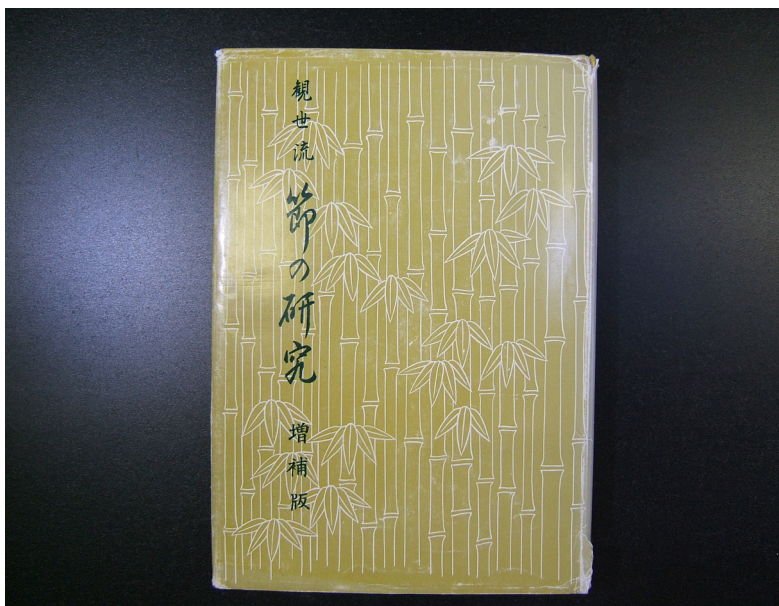


廣瀬政次 『観世流 節の研究 増補版』

観世流の謡各曲の節に焦点をあてた研究である。歴史的な謡本との記号の校合をおこなうこと、それを現行の伝承と比較する点等、謡の音楽研究の方法論として学ぶところがある本である。後半「各曲の節の研究」では、必要に応じて、当りを示すために謡が八割に割り付けて示されている。なお、宝生流の類書と比べて思うことは、観世流をもとにした地拍子の解説書では、八割で割付けだけがしめされ、謡本の節がそのまま示されることはほとんどないということである。



標題 内題：—

標題紙：観世流 節の研究 増補版

奥 附：観世流 節の研究 増補版

その他：観世流 節の研究 増補版（背）

著者 奥 附：廣瀬政次

その他の場所：廣瀬政次（標題紙・背）

出版 版 次：第一版

出版地：東京・京都

出版社：檜書店

出版年：昭和62（1987）

その他の場所：—

形態 冊 数：一冊 頁 数：二三二頁

寸 法：19×13（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 昭和二五（一九五〇）年自序。『能楽叢書第二巻 節の研究』（105頁）を増

補したもの。